

倉吉総合計画審議会 第1回産業振興部会 議事要旨

日時：平成28年2月9日 14:00～16:00

場所：倉吉市役所 第1会議室

<次第>

- 1 部会長あいさつ
- 2 協議事項
 - (1) 第11次倉吉総合計画【後期基本計画】(素案)について
 - (2) その他
- 3 閉会

【配布資料】

- 資料1 倉吉市総合計画審議会委員名簿
- 資料2 専門部会別担当職員表
- 資料3 施策別担当課一覧

■協議内容 要旨

基本目標1 いきいきと働くことができるまち【産業】

1-1 新たな時代を切り拓く、活力ある農林水産業を振興する

施策1 農林水産業を起点とした6次産業(倉吉ブランド)を確立する

委員からの質問・意見など	回答・方針など
・取組方針に基づいた具体的な事業は、計画内には出てこないという認識でよいか。	・そのとおりである。 ・具体的な事業については、総合計画に基づいた個別の計画の中に記載していく。
・新たに商品化された6次産品は、具体的にはどのような商品があるのか。	・おからかりんとう、トマトゼリー、しいたけを使った加工品などがある。
・商品開発後の流通等の流れがわかれば今後取り組む人の参考になるのではないか。	・東京で売られている商品や、ふるさと納税の商品に加わっているものがある。 ・6次産業化をやっていくという思いを支援していくことも大事だが、商品完成後の販路の確保などが弱い部分であり、強化していかないといけない。

施策2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する

委員からの質問・意見など	回答・方針など
<ul style="list-style-type: none"> 取組方針の中で「80歳まで稼げる」具体的な姿や場面を挿入してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「担い手の育成確保」「農業生産基盤の維持・向上」があたると考えている。 80歳までいきいきと活躍できるように取組を進めようとしていることがわかるような文言の修正を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 総合計画は具体的な事業を記載するものではないが、今後の取組方針の中にある程度根幹となる事業を盛り込まないと抽象的になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 篤農家技術指導や定年帰農者支援はそのような意味で例示している取組。
<ul style="list-style-type: none"> 狩猟免許取得者数を増やすための具体的な施策は決まっているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 新年度予算で有害鳥獣捕獲の実施隊を組織するための予算を計上している。 その中で狩猟免許取得の補助を計画。
<ul style="list-style-type: none"> 狩猟免許の取得者が減っていくこともあるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化により減っていくことも想定される。 いかに新しい方、若い方に免許を取っていただくかが大事。 現状値は、やめられた方を抜いた数字である。
<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣について。 	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲後は商品として売る、処理することとなるが、中部、県と一体となって考えていく。 被害額の詳細は不明なところもある。

1-2 より多くの所得を産み出せる、ものづくり産業の基盤を整える

施策3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える

委員からの質問・意見など	回答・方針など
<ul style="list-style-type: none"> この施策は平成26年度の達成率や達成度をみるとマイナスとなっているが、今後目標を達成するための取組はどこに記載されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取組方針の「企業誘致の促進」と「起業の促進」が該当する。 企業誘致は今後も続き、雇用も期待できる。これらを見込んだ目標設定となっている。 効果はもう少し先に出てくる。

<ul style="list-style-type: none"> ・西倉工業団地はまだ誘致できる場所が残っているのか。別の場所でもっと安い所を提供できないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現況は水田ではあるが、用途指定をしており、すでに電気・水道・道路インフラも整備している。 ・新しいところとなると新たに用途指定やインフラ整備を行う必要がある。 ・面積でみると3社～5社は誘致可能。
<ul style="list-style-type: none"> ・消費税増税時の価格転嫁が出来ないことが中小零細企業に影響している可能性を感じている。公正取引に関する記載が出来ないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の実態を把握していくことが必要。 ・総合計画には記載しないが、市が出来ることがあれば力になる。
<ul style="list-style-type: none"> ・既存企業の経営基盤の強化・安定化に向けた支援とは情報提供以外に具体的に何があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の側面から、県と協力して職員研修の助成や職業紹介など。 ・市の制度がわかるよう取組方針の内容を修正する。
<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所が行う起業支援の内容、起業者の業種は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業者は小さな個人事業者が多く、業種は飲食業や美容業が多い。 ・県の融資、補助金を受ける際に商工会議所のサポートが必要でありその支援を行っている。

施策4 みんなが働きやすい安定した雇用基盤を整える

委員からの質問・意見など	回答・方針など
<ul style="list-style-type: none"> ・(基本目標2 施策10 に記載はあるが) この施策内でも女性就労支援策の具体的な取組方針は記載しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載する方向で検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・就業率の定義はなにか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査により把握しており、非正規も含めた数値。
<ul style="list-style-type: none"> ・就業率は県がデータを持っているのではないか。それは入手できないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業率を図る指数は5年おきの国勢調査しかない。 ・指標管理するために毎年行っている市民意識調査を参照している。 ・利用可能なデータを当たってみる。

1-3 市内外からより多くの人たちと消費をまちに引き込む

施策5 にぎわい創出と観光業による、まちの集客力を高める

委員からの質問・意見など	回答・方針など
<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき姿に「人物」を加えられないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・施策名が端的でなく分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の施策との兼ね合いを含めて検討する。 ・「交流人口」「観光産業」というキーワードの追加も検討。
<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口を増やし、お金を落としてもらう仕組みが必要。 ・インバウンドの記載が多いが、その取組が見えてこず矛盾を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には宿泊施設が少なく、なかなかお金を落としてもらえない現状はある。 ・今後国をあげてインバウンドが数倍に増えることが大前提で、当然鳥取にも来ていただく。 ・ワンストップで来ていただく外国人観光客にお金を落としてもらうようなインフラの整備は必要でありインバウンドは重視していく。 ・具体的な施策として、免税カウンターの設置やクレジットカードの対応など計画はあるが、そこまで総合計画に記載するかは、他の施策との調整が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンションにもっと力を入れてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある組織を軸にして取り組んでいくことは明示していく。 ・H29年度、災害看護分野の学会開催が決定した。 ・ビューローへの働きかけはもっと力を入れていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・中部から倉吉に入る道路案内の充実を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題内の「変化する旅行形態や…」に含まれている。 ・どこまで個々のものを出すのかはマイス協会と検討。
<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセスについて、一次（外国から空港）、二次（空港から倉吉市内）よりも三次交通（倉吉市内）に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画では、二次交通の中に三次交通も含んでいる。 ・文言の修正にて対応する。

<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光の仕組みづくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光について中部は先進地である。 ・マイス協会と一緒に商品を造成し、魅力度の高いものを立ち寄り先に差し込んでいく。 ・今後も深化・発展が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングは大きなスポーツコンベンションの一つであると思うが、「ウォーキング」に関する記載はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針の「観光資源の活用と魅力の創出」の中に追加する。 ・基本目標3施策7にも「ウォーキングシティ」の記載がある。

施策6 地域の中でお金がまわる、拠点性の高いまちをつくる

委員からの質問・意見など	回答・方針など
<ul style="list-style-type: none"> ・「大型スーパーの撤去」という表現に違和感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修正する。
<ul style="list-style-type: none"> ・小売吸引力指数は鳥取市と比べると高いとあるが、対象は倉吉市民だけではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査からでなく、商業統計調査に基づくデータ。 ・中部の方はほとんど倉吉で買い物をしていると見ることができる。 ・買い物は鳥取や米子に行くという声をよく聞くが、実態としては倉吉での勤務の方が多いので、日常の買い物は倉吉でする人が多いと推測される。
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取組方針「コミュニティビジネスの育成強化」に文言を追加してほしい。 (ビジネスに取り組む起業家の前に“地域のコミュニティを支える商店街”を追加。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個性豊かで魅力ある商店街づくりとは当然コミュニティも含んだもの。コミュニティビジネスの方で、既存の商店街についても育成強化を対象にという意味合いになるよう検討する。

全体を通しての意見

委員からの質問・意見など	回答・方針など
<ul style="list-style-type: none"> ・評価一覧について、原因分析をしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施策とも内部評価を行っている。 ・黄色の網掛けの部分（戦略事業）は担当課からヒアリングを行い議論・評価している。
<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の配布先はどこか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館・学校・図書館・議員に配布する。 ・市民に対しては、前回は簡単にまとめたものを市報配布した。

<ul style="list-style-type: none"> 各施策の関係課がわかるといいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 検討する。 計画とは別に、市の機構が市民にわかりにくいということは、内部で協議させていただく。
<ul style="list-style-type: none"> 総合計画策定後の具体的な事業はどう進めていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には今後5年間の市の取組方針となる。 予算化し事業実施をしていく。 今回は総合戦略ともリンクしているためこちらの予算ともあわせて実施していく。
<ul style="list-style-type: none"> 欲を言えば、実施計画ということで、各事業の実施年度等スケジュールがあればわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各施策については、総合計画とは別にビジョンを策定するなどし、より具体的な方向性を出していくこととなる。
<ul style="list-style-type: none"> 評価を行う機会はあるのか。 目標は立てるが、特に達成度がマイナスとなっているものは、もう一度精査して検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価は毎年行ってきており、今後も行う。